

弓道いばらき

令和5年6月 第45号

発行者 笠間市箱田大郷戸1-31
茨城県弓道連盟
理事長 高松 清
http://ibakyuren.com

転換期の課題解決に向けて



茨城県弓道連盟 会長 中嶋 鉄郎

この一年間、会員の皆様方におかれましては、県連の行事・活動に對しまして、ご理解・ご協力・ご支援をいただきまして、何とか一年を終えることができました。誠にありがとうございました。

令和四年度は、計画しておりました行事を県大会、審査会、講習会をすべて実施することができましたことは、皆様方のご協力をいただいたお陰と感謝申し上げます。

さて、年度が明けまして行事はスタートしておりますが、今年度の課題は大きく三つあると考えております。

- (1) 若手育成をどのように進めていくか
- (2) 中学校の部活動の地域移行の問題をどのように取り組むか
- (3) 納税の問題

若手育成は、元会長柴田先生、前

会長久保田先生が取り組まれてきた課題でもあります。

そして部活動地域移行の問題は、若手育成の課題と共通の課題として考えていきたいと思っております。具体的には次の三つに分けて考えていきます。

(ア) 中・高生の育成及び支援として、まず地区別審査会の実施に取り組みます。

これは、二年間ビデオ審査を実施して参りましたが、生徒の中には体配を覚えずに卒業してしまうことが出て参りました。また以前のように水戸の武道館だけの審査会実施では交通費や拘束時間の負担を考えますと、コロナ前の状態ではなく、できるだけ地区別に実施して、この問題を解決したいと考えました。審査部にはたいへんご苦勞をかけることになりましたが、何とか計画してもらいました。

そして、できる限り各地区の称号者の先生方に審査員になっていただきまして、中・高生の射を直接観ていただくことよって地区の現状把握の機会にさせていただければ幸いと考えております。

(イ) 講習会の充実

講習会については、一部の講習会は受講者が減少しています。その理由は明確ではないのですが、「受講生が減少しているから、回数や講師の先生の人数を減らす。」という考え方はなく、今年度は内容を充実させることを最優先に考えました。

方策としては、講師の先生方を増やすことよって受講生に対してより丁寧な細やかな点まで指導していただくことが受講生はもちろん、県内全体のレベルアップにつながるものと考えました。

そして、若い錬士・教士の先生方に講師・審判に加わっていただくことをしました。私の経験から申し上げます、「称号者ですから講師をお願いいたします。」と言われてもなかなかすつとできるものではありません。

まず経験を積むことが大切であり、受講者に適切な指導ができるように

なるためには失敗も経験することが、若い人たちが伸びていく条件であると思います。その環境作りをしていきたいと考えました。

審査会の審査員の経験も同様です。(こちらは失敗は許されませんが)

同時に講習会の充実をはかるために、年度初めに日程・講習会の内容・講師の先生方をHPに公表することしました。

更には、指導部にお願ひしまして、中高生対象の講習会及び顧問の先生方の講習会の計画を立てることができました。特に、顧問の先生方対象の講習会のうち、二月実施の初段までの講習会では受講生対象の審査会を実施します。(行事計画予定表の二月十一日(日)学校指導者講習会(初段まで土浦)審査会(土浦))

これは、「教員だけ優遇しているのではないか。」と考えるのではなく、今後の中学校部活動の地域移行のことを考えますと、まず顧問の先生方に上手くなつていただき、生徒の技術向上に努めていただくことを先決としたいと考えます。県連としては最重要課題の一つと位置づけ、中学校・高校への支援を継続して、更には次の手立てを講じていかなければなら

らないと考えます。会員の皆様にご理解ご協力をお願い致します。次に、三月二日、三日「特別講習会」は、例年の「外部招聘講師講習会」を変更しました。他県から講師の先生をお願いして講習会を実施してりましたが、よくよく考えますと、茨城県は三名のたいへん優れた範士の先生方がおられます。

先生方に趣旨をお話ししてお願いしましたところ、快くお引き受けくださいましたので、計画しました。ただ、これも若手育成の一環でありますので、年齢制限をしたいと考えています。六十歳未満対象を考えております。

講習会は、私たち一人一人の技術向上に直接結びつく絶好の機会です。

弓道の技術向上のためには何をなすべきか。審査申込み書には講習会の受講履歴の欄がなくなりましたが、これは「講習会を受けなくてもよい。」という意味ではなく、審査を受けるためには更なる努力が必要であるというメッセージであると考えます。

会員の皆様方には積極的に講習

会を受講していただき更なる技術習得向上に努めていただきたいと考えております。

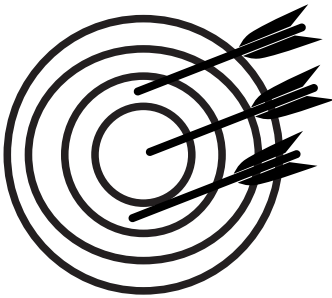
(ウ) 国体選手強化の充実・・・強化部長を中心に強化部には大変なご苦勞をおかけしています。少し長い目で見据えて、選手育成のための手立てを考えていかなければならないと考えています。今後、強化部とより具体的な方策を検討しながら選手強化に取り組んで参ります。

納税の問題
昨年十二月に全日本弓道連盟から、各弓道連盟に対して納税に関して税務署と相談するようにという通知がありました。それを受けて、三月に水戸税務署へ行き、担当者と相談して参りました。

県連の運営は、会員一人一人の会費と事業収益(具体的には審査会)によって運営されています。この事業収益に対して納税しなければなりません。これがどの程度になるのか税務署の回答が今年度中に予定されているというのが現状です。

税務署の回答がありましたら、関東地域連合会などと情報交換をしながら適切な対応をして参りたいと考えておりますので、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い致します。

最後になりますが、新型コロナウイルスが五類に移行しましたが、引き続き感染防止に努めながら大会、講習会、審査会等を実施して参ります。同時に弓界にとって様々な意味において大きな転換期に差し掛かっているように感じております。様々な課題解決のために過去にとらわれることなく、最適な方法を模索しながら取り組んで参りますので、今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



令和五年度に向けて



理事長 高松 清

今年度も引続き理事長を務めさせていただきますこととなりました。茨城県弓道連盟の円滑な運営のため、一生懸命事務局の仕事に取り組み所存です。

講習会では外部講師招聘講習会、関東北地区指導者講習会の担当地区として再開するなど、指導部の運営も大変なご苦勞であると思えます。

昨年度も皆様に支えられた中で、大会、審査、講習会等、多くの行事を行えたことに厚く御礼申し上げます。今年5月に新型コロナウイルスが5類に分類され徐々に平常の生活に戻りつつありますが、引き続き感染については注意が必要であると考えています。

また、審査会では全日本弓道連盟からコロナ禍以降に特別措置として実施されていた中高生審査のビデオ審査会が令和4年度も継続実施したことも大変なご苦勞であったことと思えます。令和5年度は地区毎に中高生審査会を開催することとなり、新たな事業運営では審査部員の方々のみで役員が不足することも懸念されます。審査会場の近隣地区から審査役員派遣のご協力をお願いいたします。

さて、競技大会では開会式等を取りやめて部門ごとの分散開催を継続しておりますが、状況を見極めて運営方法を検討して参りたいと考えています。7月には全日本弓道選手権関東ブロック予選会が茨城県で開催されること、競技部はじめ大会役員の皆様は大変なご苦勞であると思えます。

さらに、2023年度から公立中学校において、部活動の地域移行が始まり教員が受け持っていた休日の部活動の指導を地域のスポーツクラブや競技団体など外部

の団体に移行する改革が始まりま
す。スムーズな地域移行ができる
ことを期待いたします。

令和5年度の理事会・代議員会
はコロナ禍以降の書面開催から集
合開催へ変更いたしました。

第1号議案「事業報告」では競
技部より県内・外各大会の結果等
指導部からは講習会の開催状況等
研修事業について、審査部からは
一般審査・中高生審査・連合審査
の実施状況や合格者の掲載等、強
化部からは強化事業についてそれ
ぞれ報告があり承認をいただきま
した。

続いて、第2号議案「決算報告」
では、支部別会員登録数1051
名であったことをはじめ一般会
計・各専門部会計・大規模大会等
基金について収支報告がありまし
た。収支決算については税務申告
対応のため予算項目に対し決算項
目の見直しを行いました。この収
支については、令和5年5月8日
に監査を実施し、監事より適正に
処理されている旨の結果報告をい
ただいており議案の承認をいた
だきました。

第3号議案「令和5年度事業計

画(案)」では茨城県弓道連盟行
事予定を例年どおり計画し承認さ
れました。

また、第4号議案「令和5年度
一般会計予算(案)」では、各事
業費の予算配分が承認されました。

第5号議案「役員改選」では、
高体連部長が改選されたことに伴
い、茨城県弓道連盟副会長1名が
改選されました。ここに前任の副
会長の先生には本連盟の運営に多
大なるご尽力とそのご功績に心よ
り感謝申し上げます。

第6号議案「規約の改正」では、
茨城県弓道連盟地区の編成で県北
地区の日立地区への編入が承認さ
れました。

なお、現在茨城県弓道連盟でも
税務署の指導のもと、納税対応を
進めておりますことを申し添えま
す。

最後になりますが、弓道教室を
はじめ地域活動をより進められ、
弓道を継続できる環境づくりをす
るなど、今後も皆様方のお力添え
をお願いするとともに皆さま方の
益々のご発展、ご活躍をご祈念い
たします。

茨城県弓道連盟「創立70周年記念誌」を 発行しました

本県での国体開催・新型コロナウイルス蔓延に
より一年遅れとはなりましたが、なんとか「創立
70周年記念誌」を上梓することができました。会
長はじめ役員、各支部、各会、学校関係の皆様方
のご協力に感謝し、編集委員一同心よりお礼申し
上げます。

記念誌のあとがきにも書きましたが、各支部か
らご投稿いただいた「支部のあゆみ」を中心にし
て茨城県弓道連盟の一〇年間が目に見えるように
編集しました。令和元年に開催された「第74回い
きいき茨城ゆめ国体弓道競技」も事務局長(当時)
にお骨折りにいただいて掲載することができました。
ありがとうございます。

記念誌は多くの会員の方々にご購入いただいた
ほか、日弓連、関東各地連などに献本し、十数冊
を残すのみとなりました。残部については茨弓連
保存版とさせていただきます。

発行 令和五年三月三十一日

A4版 171ページ



正誤表

お詫びして、訂正します。

- ▼18. 水戸桜川支部 P52
 - 平成29年度
 - ◎審査昇段昇格
 - 九段 柴田猛
 - 七段 森昭夫 (挿入)
 - 平成30年度
 - ▼第2節 茨城県弓道連盟主催大会 P169
 - 令和3年度
 - ・ねんりんピック予選
 - 令和3年12月6日
 - 候補選手

齊藤	千晴	大	勉
谷越	敏彦	磯	巳
川端	春江	北	一
矢崎	夫	綿	恵
青木	達	引	育
藤	一	間	捷
ミ	男	浅	政
ユ	隆	川	夫
キ	吉	越	春
 - 監督/交代選手

専門部だより

指導部



部長 福地 平

指導部長を拝命し2年目を迎えました。昨年度は、コロナ感染者数が連日報道される状況から、感染対策に十分注意を払うと共に、講師や事務局及び受講者の皆様にもご協力を頂いたお陰で、計画通り実施することができ感謝申し上げます。

さて、令和四年度の講習会を振り返ると、年間行事予定で計画した14回の講習会及び持ち込み企画1件を実施。また受講者数も合計663名の参加を頂きました。

年度初めに行った講師・審査員研修会では、従来は錬士六段以上を対象としていましたが、平成三十年度に施工された「審査委員・審判委員・講師公認資格認定制度」を受け、茨弓連でも錬士五段以上の希望者を対象に、地方委員公認資格（地方審査委員・地方審判委員・地方講師）の認定を行いました。この資格は有効期限

が3年で、かつ原則年1回の定期講習会の受講が必要。そのため令和四年度から、この講習会を定期講習会と兼ねるため、錬士五段以上に拡大しました。

なお、今後新たにこの資格認定を受けるには、日本スポーツ協会（JSPC）公認弓道コーチ1以上の資格を有することが条件となるため、新たに資格取得を希望する者を対象に、5日間（40時間）の日程で資格取得講習会を行い、新たに16名が取得しました。なお、この資格の有効期限は4年で、更新にはJSPC主催の講習会の受講が義務付けられています。しかし茨弓連の有資格者に未受講者が多く、このままでは多くの方が資格を失効してしまう恐れがあるため、茨弓連が臨時でJSPC義務研修会を代行し、55名が救済されました。

また、全弓連指導方針や伝達事項等を中央講師から各地連代表に伝達する関東北地区指導者講習会が千葉県で開催され、茨弓連から5名が受講しました。その後、受講した5名が講師となり支部指導者伝達講習会を開催し、60支部のうち32支部が受講しました。

また持ち込み企画として、肩・腰・頸椎等に不調を訴える方が多

いため、正しいケガ予防やトレーニング法を学んで頂き、長く弓道を楽しんで頂くため、理事会の承認を得て「スポーツ医学講習会」を実施。講師に、リメディアルマツサイゼセラピーとして活躍されている今野悦子先生をお招きし、27名が受講しました。肩や腰の不調を訴える受講者達からの質問にも、実演を交えて指導があり好評でした。

年度末には、例年実施している外部講師招聘講習会の外部講師に、範士八段桑田秀子先生をお招きし、2日間の日程で46名が受講。巧みな話術と熱心なご指導により受講生も集中力を切らすことなく真剣に受講していました。なお三・四段講習会については、前年は三密を避けるために三段と四段を分けて実施しましたが、令和四年度は合同で2回、合計107名（66+41）が受講。教士講習会は1回のみで30名が受講。一方、五段講習会と錬士講習会についてはは各2回行ったが、五段講習会で合計41名（25+16）、錬士講習会で合計52名（32名+20名）、ここ数年減少が見られました。また支部伝達講習会も、過去10年間に一度も受講実績の無い支部が60支部のうち16支部と、今後の講習会の有り方を

考えさせられる結果となりました。令和五年度の茨弓連の方針として、会長から若手指導者の育成や間もなく地域移行される公立中学校・高校の部活動への対応として、中学校部活動支援や顧問の先生への指導強化を図ることが示されました。具体的には、

- 一、中学生に対しては土浦市武道館と振原運動公園の2会場での講習会を計画する。
- 二、顧問の先生方についても、弓道経験を有する先生と経験の無い先生に分けた講習会を計画する。なお、経験の無い先生には、初段取得を支援する。

若手指導者の育成として、従来の講習会では称号者を名で行っていましたが、今年度は講師の数を5名程度に増やし、主任講師の下で指導経験と見識を養って頂きます。また、一方的な押し付けの講習会とならないように、講習会の最後に受講者にアンケートをお願いし、講習会に反映していきたいと思っておりますので、忌憚の無いご意見をお願いします。

なお、茨城県弓道連盟会員に対しては、三・四段講習会及び五段講習会は例年通り各2回、錬士講習会・教士講習会は各1回計画します。

さらに、関東北地区指導者講習会については、北関東地区の各地連が持ち回りで対応しており、今年度は茨弓連が担当地連となるため、堀原運動公園内弓道場で2日間の日程で実施する計画です。この講習会には茨弓連から6名が受講し、その後6名が講師となって支部指導者伝達講習会を計画するので、各支部の代表は必ず受講して頂き、後日各支部の会員に伝達をお願いします。また、JSPC公認弓道コーチ1以上の資格を有するにも係らず、全弓連「地方委員公認資格（地方審査委員・地方審判委員・地方講師）」の認定を受けていない方を対象に、資格取得講習会を計画します。一方、例年行っていた外部講師招聘講習会は、茨弓連に幸いにも3名の範士の先生が居られるため、この先生方に講師を委嘱し、特別講習会として計画します。

最後に、今年度講師を委嘱された先生方には、指導の際に、原則教本第1巻に基づき指導をお願いします。また、武道として気合ある射技を生み出す指導、隙を作らない射技のための体配指導、骨格や体格等に応じ、理にかなった引き方、手先ではなく体で離れる伸び合いが出来る指導をお願いします。

審査部

部長 新井 重夫



令和四年度審査会は、受審者の滞留時間の制限や密集の回避を図るとともに、中高生審査会はビデオ形式による審査を行うなど引き続き感染対策に努めながら実施しました。

円滑な審査運営ができましたのは、受審者の皆様、各支部・学校で審査申込の取りまとめに携わった皆様、審査員の先生方、審査部員の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

中高生ビデオ審査会二回(2,334名)、一般審査会二回(341名)、【茨城】関東地域連合審査会一回(196名)を開催いたしました。

また、他地連主管を含む連合審査会には、延べ361名の申込があり、14名の方が五段に昇段されました。

中央審査会には、延べ344名の方の申込があり、六段5名、七段1名、八段2名が昇段、錬士5名、教士3名が昇格されました。

昨年度の延べ3,432名の審

査申込は、コロナ禍以前の水準まで回復した状況です。皆様からお預かりした審査料と登録料の総額は約1,600万円でした。

令和五年度は、過去最多の年間18回(20射場)の審査会を開催予定です。

中高生審査会は、昨年度まで3年間実施してきたビデオ審査を取りやめ、従前の参集方式での審査会を開催いたします。受審者が参加しやすいように、県北・県央・鹿行・県南・県西の5地区毎に15回(17射場)開催いたします。各学校の顧問の先生、外部指導員の方々におかれましては、五人立ちでの『審査における行射の要領』のご指導等、引き続き生徒の皆さんのためにご尽力いただきたくお願い申し上げます。

一般審査会は、昨年度と同様の受審者の分散を図り、2回開催する予定です。

新たな試みとして、中学・高校の弓道部顧問の先生方を対象に、指導者育成の講習会にあわせて教職員審査会を1回開催します。

連合審査会は、昨年度より受審申込者の所属地連を限定しない従前通りの連合審査会が開催されており、五月には1名が昇段されました。十月には、当地連主管

の【茨城】連合審査会を開催いたします。

今年度の中央審査会も、従来の回数が開催されるようになっていきます。感染対策として行ってきた受審者の参集方式・審査結果の公表タイミングなど、コロナ禍の教訓を活かした審査会運営が継続されております。

なお、教士・錬士は、第一次審査通過後に当該審査で候補者もしくは合格者とならなかった場合、第一次審査通過者を対象とした特別臨時審査会(日時・会場は別途案内)を受審できます。

今年度、過去最多となる審査会を主管運営するには、審査部事務局の運営体制を充実させ、審査会運営ノウハウを継承する人財育成が喫緊の課題です。その課題解決のため、今年度より審査部事務局を5名体制とし、審査事務作業を平準化するとともに、審査運営ノウハウの継承を図っていきます。

これまでは、審査部員のみで審査運営役員を担ってまいりました。しかし、一部の審査会場では、審査会の運営役員が足りない状況となっております。これは、他の競技団体等との競合があり、審査会場の確保が難しく、他の県連行事と審査会の重複開催や、複数会場で

審査会の同時開催を余儀なくされているからです。また、遠方の審査会場の場合は、交通費の支出が増加します。これらの問題を解決するため、今年度より審査会場の近隣地区から審査当日の運営役員派遣について、ご協力をお願いいたします。

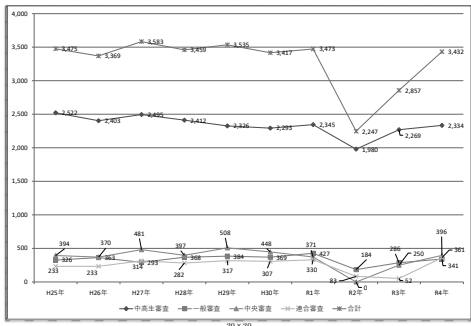
なお、会場近隣地区からの審査運営役員派遣につきましては、審査会毎に審査部事務局から各地区理事にご依頼申し上げます。

令和五年度も、受審者の皆様が安心・安全に審査が受けられる環境を整備するとともに、円滑な審査会運営に努めてまいりますので、今後ともご指導・鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

審査会の同時開催を余儀なくされているからです。また、遠方の審査会場の場合は、交通費の支出が増加します。これらの問題を解決するため、今年度より審査会場の近隣地区から審査当日の運営役員派遣について、ご協力をお願いいたします。

審査会の同時開催を余儀なくされているからです。また、遠方の審査会場の場合は、交通費の支出が増加します。これらの問題を解決するため、今年度より審査会場の近隣地区から審査当日の運営役員派遣について、ご協力をお願いいたします。

受審者数



競技部

部長 後藤 裕一



「コロナ禍はいつ収束するのか」という大きな不安の中、行動制限のストレスを感じながらも、感染力の高い変異株の出現により、感染者数は急増し、偏見・差別なども社会問題となりました。このような社会情勢の中、大会案内も【新型コロナウイルス感染症対策】の記載が当然の事となり、要項には【種別分散開催、入館時間制限、無観客、検温、体調管理チェックシート、アマビエの登録、競技中以外はマスクの着用、三密回避、手指消毒、競技後の速やかな退館】と主催者側からの競技以外の注意事項が示され、競技部事務局長は、大会開催準備と並行して中止連絡の準備を常に行っている状態でした。そんな中、GW明けの急激な感染拡大により、五月二日(日)実施予定の県選手権決勝大会は、六月十八日(土)に延期され、同日予定されていた教士講習会も延期となりました。

様々な事を想定して対策を講じ

様々な事を想定して対策を講じ

ていても、急な変更を余儀なくされることのある事を知らされて、改めてコロナウイルスの脅威を感じました。しかし、その様な事態だからこそ、柔軟で適切な対応力が要求されますが、常に適切な判断をなさった会長、副会長、そして、当連盟の活動にご理解とご協力を下さった会員の皆様にご感謝申し上げますと共に、県弓連の本部役員、事務局長の対応力の高さ、組織力の高さに感服致しました。全国的には通信大会の開催を余儀なくされる地連も多い中、二〇二二年度の総ての大会が開催出来たのは、そのような本県弓道連盟関係者の皆様方のお陰だと、心より感謝申し上げます。

二〇二三年度の競技大会運営方針については、年度当初、中嶋会長からありました通り、会員の皆様、健康を第一に考えた運営として「分散開催」、「換気」、「三密回避」、「手指消毒衛生」を続け、参加者には、自身の健康を第一に考えた行動判断をして頂く事をお願いしてまいります。試合の観戦をする場合は、観客席でのみとし、マスク着用は個人の判断に委ねる事となっています。その他、競技部としては、昨年より実施しています参加者（選手・役員）へ

の傷害保険に追加し、今年度は酷暑を想定した「熱中症オプショナル」を付けました。今年度も大会参加者が安心安全に参加出来る大会運営を心掛けてまいります。また、昨年からの課題であった、「大会申し込み業務の負担軽減」ではGoogleの無料アプリを活用しての大会受付業務の導入をスタートしました。少しでも負担軽減になればと思っております。

昨年の大会を振り返り、今年度は大会参加選手にお願いしたい事が2点あります。

(一) 入場の方法について確認して頂きたい

競技内容で、審査要領（春季・段位別・県選手権決勝の採点制）と競技要領がありますが、どちらも、「入場では必ず上座に意を注ぎ、順次礼（揖）をする。」と記載してあります。また、前立が

入場する場合は、何番の甲矢の弦音で入場するのか、そして、射位に進むのは、選手が「後退し右に1歩踏み出すとき」なのか、「最後の射手が後退するとき射位に進む」のか、競技内容を確認して内容に

対応して確認して頂きたい

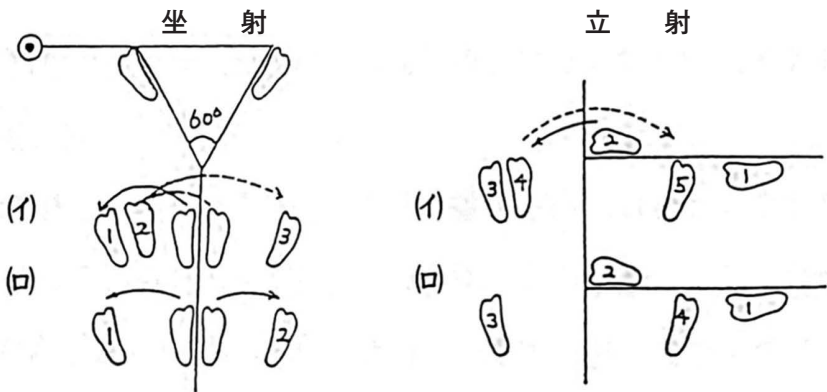
競技運営上、坐射だけでなく、

立射での競技をお願いする事が多いです。

立射での競技をお願いする事が多いです。

立射での競技をお願いする事が多いです。

立射での競技をお願いする事が多いです。



立射での競技をお願いする事が多いです。

あります。

次に、立射の矢番えについて

「執弓の姿勢から末弭を床に付け、左拳は腰につけたまま弦を返して、肩の高さ辺りで弓矢を抱え込み、甲乙を見分けて甲矢を番えした後、乙矢を打ち込み、筈を保ち、捧持する気持ちで円相にて本弭を左膝頭へのせ右拳を腰の辺りにとります。(略)」。弓札・弓法問答集では、「左拳を腰から離して弦を返す方が多いようです。左拳を腰につけたまま握りの手をゆるめれば、弦は下に向きます。」とあります。今一度ご確認お願い致します。そして、行射は「弦音」で打起し行射するのか、「弦音」で取懸け、打起し行射するのか、も確認して頂きたいです。

ここに、全日本学生弓道連盟会長の「弓道訓」を紹介します。『弓道の修練は、身体の動きを必ず作法通りに行い身も心も正しくして、足踏み、胴造りを行えば初めて正確な弓構えをすることができる。正確に弓構えた後、打起し、引分け、会、離れへと進めば、離れた矢は必ず的に中る。的中した後の気品に満ちた残心は、徳の高まりとなる。徳の高まりは正しい八節をみることによって養われる。修練によって築かれた弓

しかし、立射の足踏みについて2歩目の足がいい加減な選手を見かけます。射位が示されていますので、正しく行って頂きたいです。私も、「射法八節は足踏みから始まる。足踏みがいい加減では、会、離れ、残身はどうなるのだろうか」と指導を受けた事が

道は、協心、努力を心得た人間形成への道を進めよう」

昨年の表彰式での範士の先生方の講評を振り返ると、競技力(的中)向上には射法八節の技法だけでなく、心法を身に付け、本来の弓射の目的を考え直す重要性を説いているように思えます。真の道中、競技力の向上を目指して、日ごろの稽古を本番のように、研鑽を積んでいくことが重要であると思えます。

競技部といたしましては、今後とも会員の研鑽の場として競技会を会員に提供できるように、役員一同、運営に尽力致しますので、競技運営にご協力宜しくお願い申し上げます。

末筆ですが会員の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

強化部

部長 高木 勉



令和四年度、中嶋会長をはじめ役員の方々の先生方、強化部スタッフのサポートにより無事一年を終了することができました。皆さまには心より感謝申し上げます。

令和五年度も一層の努力を致す所存でございますので、何卒ご指導ご協力を賜りますようよろしく
お願い申し上げます。

令和四年度の成績

七月三十一日(日)

国体関東ブロック大会
(東京都明治神宮中央道場)

成年七都県中

三都県関東ブロック通過

少年七都県中二都県

関東ブロック通過

成年男子

近的17中5位 遠的1255点

五位 総合五位

国体関東ブロック不通過

成年女子

近的 8中7位 遠的 70点

七位 総合七位

国体関東ブロック不通過

少年男子

近的10中7位 遠的 91点

四位 総合六位

国体関東ブロック不通過

少年女子

近的 9中7位 遠的 43点

七位 総合七位

国体関東ブロック不通過

令和四年は栃木国体ということもあり開催の栃木県が出場決定し

ていることで、国体関東ブロック大会は成年が四枠から三枠、少年が三枠から二枠になりました。その中で近的・遠的の獲得点数が伸びず四種別とも関東ブロック不通過という結果になりました。

鹿児島国体へ向けての選手選考会は十一月、十二月、一月と三回行い、男子十五名、女子十五名の参加を頂き、昨年まで参加がなかった高校生も新たな人材発掘、育成事業の一貫として所属高校顧問の先生と保護者の許可がある四名の方に参加頂き、成年との交流強化経験をして頂くことが出来ました。

またスポーツ協会からの強化事業、「競技力向上のための支援活動」外部指導者による育成も千葉県弓道連盟、範士八段土佐正明先生にお越しいただきました。

土佐先生におかれましては少年・成年での国体選手、全日本弓道大会教士の部優勝3回や全日本弓道近近的選手権大会最高得点5回、優勝2回の成績を収めております。その数々の経験や大会に臨むにあたっての心構えなどの講話、射技・射法を時間の許す限り指導して頂きました。

昨年まで新型コロナウイルスの

影響もあり、他県との合同強化練習を行うことが出来ませんでした。国体でも入賞するチームと一緒に練習させて頂くことで、緊張感のなか精神面や射技の向上で関東ブロック通過につながればと今年度から再開いたします。

第七十七回国民体育大会での茨城県総合成績は1107点19位でした。

弓道競技では得点に貢献することが出来なかつたので、今年度は埼玉県で行われる関東ブロック大会を通して本国体に出場できるよう強化練習を行っていきたくと思います。

施設部

部長 荻谷 純生



日頃より施設部の運営にあたり、ご理解とご協力を賜り誠に

ありがとうございます。

昨年は就任初年度で、前任の園部先生には大変ご指導をいただきました。尾吹君も強化部で重要な立場にありながら施設部に残ってくれたことで新人四名少しずつ仕事を覚えていきます。

施設部は大会の事前準備が主な

仕事になります。最初に取り組んだのは「きれいな」の提供です。国体時に使用した真円的が多数在庫にあり、競技部からの依頼で「あたり」「はずれ」を確認しやすい真円的に全部交換し使用していただきます。

射手が狙いを定め離れた後の的を破く音は次の射に自信を与えます。また的中した矢を抜くときの音も、たとえ他人の矢でも気持ちの良いものです。そんな良い音の出る的を提供したいと思っています。

次に試合会場の寒さ対策です。特に新年射会など寒さの厳しい時期は、国旗の前の壇上で大会終了まで見守っている連盟役員の方々は隙間風で身を縮ませながらも大会を見守ってくれています。建物と密着した衝立につくり替え、後方にストープを用意しました。

また競技部の係員も寒さに耐えて運営してくれています。火気持込み厳禁の武道館と協議しファンヒーターの道場持ち込みの許可、進行係の足元の温暖マットの設置などに取り組みました。

第三は倉庫の整理です。茨弓連で管理している倉庫は武道館内に五か所あります。長年の蓄積で相当不要な物があり狭い倉庫を更に使いづらくしていました。毎月の

施設部員の作業日に倉庫内ものを全部出してから余分なものは廃棄し、棚を新調して物の整理をしました。スペースができた倉庫には国体終了時にかたづけたままにあった備品を整理し収納することができました。

就任前から思っていたことに看的室の清掃があります。矢取りをするたび狭いと感じていました。通常使用するものだけに整理し、施設部作業が終わって最後に看的室の掃除をして解散しています。数名から「綺麗になった」いわれませんが、次回の作業日には埃だらけ、砂だらけです。

「礼に始まり礼に終わる」教えを実践し、大会や審査の時だけではなく、常時利用している皆様も使用後は用意されている「ほうき」を使っていたらただけだと

思います。施設部は、さらに整理し多くの利用者が「きれいになった」と言われることを本年度の目標としています。

皆様のさらなるご指導とご協力をお願いいたします。



会議報告

県外

関東地連会長会議

(R4/4/6)

全国地連会長会議

(R5/3/22)

県内

理事会 (R4/5/14)

代議員会 (書面開催)

研修事業報告

県外

(関東北地区)

指導者講習会

(R4/6/25~26 5名参加)

(関東北地区)

指導者育成講習会 中止

中央研修会

(R5/2/17~19)

該当者無し

県内

1、講師審査員研修会

(R4/4/3 水戸 85)

2、第1回五段講習会

(R4/4/30 水戸 25)

3、第1回三・四段講習会

(R4/5/21 水戸 66)

4、高校審判実技講習会

(R4/7/9 水戸 75)

5、JSCO新規資格コーチ1取得講習会①

(R4/7/2 水戸 17)

6、JSCO新規資格コーチ1取得講習会②

(R4/7/3 水戸 16)

7、JSCO新規資格コーチ1取得講習会③

(R4/8/6 土浦 16)

8、JSCO新規資格コーチ1取得講習会④

(R4/8/7 土浦 16)

9、JSCO新規資格コーチ1取得講習会⑤

(R4/9/17 水戸 16)

10、支部指導者伝達講習会

(R4/8/11 水戸 33)

11、教士講習会

(R4/8/20 水戸 30)

12、第1回錬士講習会

(R4/8/28 水戸 32)

13、第2回五段講習会

(R4/9/18 水戸 16)

14、第2回三四段講習会

(R4/9/23 水戸 41)

15、第2回錬士講習会

(R4/11/13 水戸 20)

16、スポーツ医学講習会

(R5/1/28 水戸 27)

17、JSCO義務研修会

(R5/2/5 水戸 55)

18、外部講師招聘講習会

(R5/3/25 水戸 48)

(R5/3/26 水戸 46)

延べ参加者数 680名

県外大会 一般

第73回全日本弓道大会

(地連別開催・通信大会)

R4/5/2(月)・3(火)

京都市勧業館「みやこめっせ」

第69回全日本勤労者弓道選手権大会

R4/6/11(土)・12(日)

明治神宮武道場至誠館弓道場・

第二弓道場

三菱ケミカル 日製(日立)

第63回関東地域弓道選抜選手権大会

R4/10/23(日)

群馬県総合スポーツセンター

武道館弓道場

・有段者の部

菊地 凜

栗島 則夫

中野 公子

吉村 静華

瀧口 真央

・称号者の部

尾吹 将大

大貫富士男

萩野谷綾子

境 貴洋

辻 尚宏

全日本弓道選手権大会関東ブロック予選会

R4/8/6

千葉県総合スポーツセンター

弓道場

・男子の部

矢野 大輔 (1位通過)

辻 尚宏

尾吹 将大

・女子の部

萩野 淑江

萩野谷綾子

紫村トク子

第73回全日本男子弓道選手権大会

天皇盃

R4/10/1(土)

男子 矢野 大輔

第55回全日本女子弓道選手権大会

皇后盃

R4/10/2(日) 女子

5福地 平

神宮弓道場

第77回国民体育大会弓道競技会

栃木県宇都宮市ユウケイ武道館

R4/9/10(土)~13(火)

第73回全日本弓道の選手権大会

R4/10/29(土) 男子

瀧口 真央

尾吹 将大

R4/10/30(日) 女子

全日本弓道連盟中央道場

上馬 英子

吉村 静華

第34回全国健康福祉祭(ねんりんピック)ながわ(2022)

R4/11/12(土)~15(火)

秦野市カルチャーパーク総合

体育館

大金 勉、磯前 一己、

北原須恵雄、綿引 育子、

岩間 捷雄

(交代選手 越川 春恵

監督 湯浅 政夫)

オンライン全国弓道大会

R4/3/13(日)

大会本部・全日本弓道連盟事務所

堀原運動公園武道館弓道場

1 菊地 凜 2 久保田 亮

3 瀧口 真央 4 菊地 俊和

監督 中嶋鉄郎

県外大会 自衛隊

第49回全自衛隊弓道大会

・中止

水戸工業

▼男子個人の部

・優勝 石井 啓斗(桜牧)

・第3位 久田 拓海(石商)

・男子技能優秀

団体 水戸桜ノ牧

個人 石井 啓斗(桜牧)

県外大会 教職員

第60回関東教職員弓道大会

(埼玉) 通信大会

(神奈川 通信 7/3)

・女子団体優勝

八巻 千夏(日立商業)

上東 萌(龍ヶ崎第一)

大金喜代子(大成女子)

・女子個人優勝

上東 萌(龍ヶ崎第一)

第53回全日本教職員弓道選手権大会

(佐賀県 8/11~12)

豊田 陽菜(水二)

・準決勝敗退

高野 碧(石商)

第77回国民体育大会関東ブロック大会弓道競技

(東京都 7/30~31)

▼少年男子の部

・近的7位、遠的4位、総合6位(不通過)

少年女子の部

・近的7位、遠的7位、総合7位(不通過)

第41回関東高等学校弓道個人選手権選抜大会

(東京都 9/3~4)

▼男子の部 第5位

優勝 石井 啓斗(桜牧)

▼女子の部

準優勝 小林 彩乃(妻二)

第5位 野口 凜(妻二)

第41回全国高等学校弓道選抜大会

(熊本県 12/23~25)

▼男子団体の部

・予選敗退 土浦工業

▼女子団体の部

・第5位 水戸第二

▼男子個人の部

・準決勝敗退

亦野 涼雅(清真)

・予選敗退 工藤 拓海(土三)

▼女子個人の部

・予選敗退 新出 埜乃(竜一)

・綿引 千也(牛久)

第22回東日本高等学校弓道大会

(青森県 R5/3/24~26)

▼5人制男子の部

・決勝T進出 日立第一、日立北

▼5人制女子の部

・準優勝 水戸第二

・決勝T進出 清真学園

・予選敗退 竜ヶ崎第二

▼3人制男子の部

・決勝T進出 日立北

・予選敗退 日立第一

▼3人制女子の部

・決勝T進出 水戸第二

・予選敗退 清真学園、竜ヶ崎第二

・男子団体

第5位及び技能優秀賞

東海南中学校

・女子団体

優勝 東海中学校

連盟後援行事

土浦桜祭り大会

(中止)

村松山弓道大会

(中止)

鹿島神宮弓道大会

(4/29)

神栖弓道大会

(中止)

あやめ祭り弓道大会

(中止)

県南弓道大会

(中止)

県西弓道大会

(中止)

観梅弓道大会

(中止)

県外大会 中体連

第32回関東中学生弓道大会

(中央 R4/8/15)

男子・女子 団体・個人

入賞者無し

第19回全国中学生弓道大会

(中央 R4/8/8~9)

県外大会 高体連

第66回関東高等学校弓道大会

(神奈川県 R4/6/4~5)

▼男子団体の部

・予選通過 守谷、水戸桜ノ牧、石岡商業

・予選敗退 下妻第二、

▼女子個人の部

・決勝敗退

▼男子個人の部

・予選敗退

西野 颯馬(妻二)、瀧本 壮汰(守谷)

▼女子団体の部

・決勝トーナメント1回戦敗退

水戸桜ノ牧

▼男子団体の部

・決勝トーナメント1回戦敗退

水戸桜ノ牧

▼男子個人の部

・予選敗退 土浦工業

▼女子団体の部

・第5位 水戸第二

▼男子個人の部

・準決勝敗退

亦野 涼雅(清真)



茨城県弓道連盟主催(主管)県大会結果

第72回全日本大会茨城県大会

春季大会

R4/4/17

▼有段男子の部

優勝 瀧口 真央

準優勝 宮川 晃弥

第3位 矢口 裕章

第4位 園部 晃生

第5位 山田 幸一

▼有段女子の部

優勝 鈴木 雅代

準優勝 斎藤 詩乃

第3位 加藤真佐美

第4位 鹿野 幸子

第5位 沖田 紀子

▼称号者の部

優勝 堀 史

準優勝 橋本 真也

第3位 高羽 京子

第4位 岡田 敏樹

第5位 山口 純

射技優秀

第一射場 斎藤 詩乃

第二射場 瀧口 真央

選手権予選大会

R4/5/8

▼有段者男子の部

(決勝大会進出者)

宮崎 隆之・矢口 裕章

栗島 則夫・市毛 隆行

川上 輝人・菊地 凜

加藤 起基・菊地 祐太

瀧口 真央・齋藤 達雄

▼有段者女子の部

(決勝大会進出者)

吉村 静華・島崎かおる

菅原 智子・衣川ひなの

江畑 葉月・中野 公子

斎藤 詩乃・江橋千穂子

綿引 育子・沖田 紀子

▼称号受有者男子の部

(決勝大会進出者)

菊地 俊和・中井川一郎

矢野 大輔・尾吹 将大

塚本 重毅・大貫富士男

境 貴洋

▼称号受有者女子の部

(決勝大会進出者)

古山 道子・石塚 美志

萩野谷綾子・鈴木 裕美

上田 有香・紫村トク子

大金喜代子・萩野 淑江

中井川美枝子

選手権決勝大会

R4/6/18

▼有段者男子の部

最高得点賞 瀧口 真央

優勝 菊地 凜

準優勝 瀧口 真央

第3位 栗島 則夫

▼有段者女子の部

優勝 吉村 静華

準優勝 中野 公子

第3位 斎藤 詩乃

▼称号者男子の部

最高得点賞 辻 尚宏

優勝 尾吹 将大

準優勝 辻 尚宏

第3位 大貫富士男

▼称号者女子の部

最高得点賞 萩野谷綾子

優勝 萩野谷綾子

準優勝 萩野 淑江

第3位 上田 有香

▼関東選手権派遣(有段者)

菊地 凜

栗島 則夫

中野 公子

吉村 静華

瀧口 真央

(宮崎 隆之)

▼関東選手権派遣(称号者)

尾吹 将大

大貫富士男

萩野谷綾子

境 貴洋

辻 尚宏

(萩野 淑江)

▼全日本関東予選男子派遣

(称号受有者)

矢野 大輔

辻 尚宏

尾吹 将大

(境 貴洋)

▼全日本関東予選女子派遣

(称号受有者)

萩野 淑江

萩野谷綾子

紫村トク子

(大金喜代子)

県民総体

R4/6/5

▼男子三段以下

優勝 菊地 凜

準優勝 山田 幸一

第3位 宮崎 隆之

第4位 磯山 立樹

第5位 菊地 茂実

▼男子四段以上

優勝 平根 伸彦

準優勝 瀧口 真央

第3位 増尾 裕次

第4位 狸塚 義弘

第5位 中田 智也

▼女子三段以下

優勝 鈴木 明美

準優勝 加藤真佐美

第3位 江畑 葉月

第4位 該当者なし

▼女子四段以上

優勝 黒澤 由香

準優勝 岩田 京子

第3位 沖田 紀子

第4位 飯山貴与子

第5位 川畑 映子

▼称号受有者男子

優勝 尾吹 将大

準優勝 福地 平

第3位 中井川一郎

▼称号受有者女子

優勝 高羽 京子

準優勝 柴原一利子

第3位 財津 昌子



遠の大会

R4/6/26

▼男子四段以下

優勝 平澤 好美

準優勝 内山 吉文

第3位 山田 幸一

第4位 宮崎 隆之

第5位 萩谷 直人

▼男子五段以上

優勝 瀧口 真央

準優勝 尾吹 将大

第3位 廣木 栄則

第4位 平根 伸彦

第5位 廣木 豊

▼女子四段以下

優勝 中野 公子

準優勝 以下該当者なし

▼女子五段以上

優勝 上馬 英子

準優勝 吉村 静華

第3位 斎藤 詩乃

第4位 小林 美環

第5位 該当者なし

夏季錬成大会

R4/8/27

▼団体戦

優勝 土浦亀城B

谷田部・砂田・山崎・辻・

後藤

準優勝 土浦A

瀧口・栗島・菊地・鶴見・

斎藤

第3位 三菱ケミカルA

山野・奥田・堀川・秋山・

大瀬良

第3位 石岡A

中田・菊地・沖田・金子・

佐藤

段位別大会

R4/10/8

▼二段以下の部

優勝 衣川ひなの

準優勝 薄井 咲帆

第3位 朝川 剛

第4位 上口千鶴子

第5位 秋山 美香

優秀賞 秋山 美香

▼三段の部

優勝 菊地 凜

準優勝 飯沼 幸一

第3位 赤萩 治久

第4位 中野 浩史

第5位 臼井 清美

優秀賞 飯沼 幸一

▼四段の部

優勝 狸塚 義弘

準優勝 藤木 太仁

第3位 青木 隆

第4位 山野 貴広

第5位 園部 晃生

優秀賞 藤木 太仁

▼五段の部

優勝 大貫 春恵

準優勝 大岡 健司

第3位 廣木 豊

第4位 瀧口 真央

第5位 江幡 航平

優秀賞 大森 絵鈴

▼称号受有者

優勝 野口 久

準優勝 杉山 義光

第3位 小堀 富男

第4位 岡田 敏樹

第5位 米山 良美

中野杯

R4/11/20

▼男子の部

優勝 中田 智也

準優勝 矢口 裕章

第3位 菊地 凜

第4位 矢崎 一男

第5位 佐藤 博次

▼女子の部

優勝 黒澤 由香

準優勝 田中幸羽音

第3位 斎藤 詩乃

第4位 畠山 明子

第5位 薄井 麻梨

▼称号受有者

優勝 小堀 富男

準優勝 尾吹 将大

第3位 菊地 俊和

第4位 小沼 隆史

第5位 黒澤 智子

支部对抗

R4/8/24

▼団体戦

優勝 土浦B

瀧口・大塚・菊地

準優勝 土浦亀城A

千葉・砂田・塚本

第3位 茨城大学A

田中・三浦・坂佐井

第3位 稲敷市A

山田・増尾・唐澤

第3位 郡司 唯志

第4位 萩谷 直人

第5位 角 直幸

女子

優勝 中澤千枝子

準優勝 蛭田恵美子

第3位 畑 由里子

第4位 横山あさみ

第5位 加藤 祐子

▼四・五段

男子

優勝 本間 岳

準優勝 倉茂 憲明

第3位 増尾 裕次

第4位 藤木 太仁

第5位 平根 伸彦

女子

優勝 江橋 宏美

準優勝 佐々木京子

第3位 遠藤 静子

第4位 坂佐井朋佳

第5位 小又美恵子

▼称号受有者

優勝 山口 純

準優勝 後藤 裕一

第3位 矢野 大輔

第4位 尾吹 将大

第5位 小沼 隆史

新年射会

R5/1/11

▼三段以下

男子

優勝 高野真太郎

準優勝 荒木 道備

女子

- 優勝 石塚 美志
- 準優勝 宮下 文子
- 第3位 木村亜紀子
- 第4位 財津 昌子
- 第5位 吉村 静華

勤労者大会

R5/3/8

団体戦

- 優勝 キヤノン取手
- 大金・川畑・関口
- 準優勝 日製(日立) A
- 久保田・尾吹・竹之内

茨城県教職員弓道連盟県内大会結果

春季大会

R4/5/1

男子の部

- 優勝 荻原 裕一
 - 準優勝 辻 尚宏
 - 第3位 栗田 克紀
 - 第4位 谷田部大地
 - 第5位 千葉 一茂
- ▼女子の部
- 優勝 大金喜代子
 - 準優勝 大川都志子

総合の部

- 優勝 荻原 裕一

秋季大会

R5/11/27

男子の部

- 優勝 後藤 裕一
 - 準優勝 千葉 一茂
 - 第3位 門井 寿通
 - 第4位 荻原 裕一
 - 第5位 塚本 重毅
- ▼女子の部
- 優勝 八巻 千夏
 - 準優勝 上東 萌
 - 第3位 佐藤 敬子
- ▼総合の部
- 優勝 八巻 千夏

高体連県内大会結果

春季大会 兼 関東大会県予選

R4/5/14 (男子)

R4/5/15 (女子)

男子団体

- 優勝 守谷
- 準優勝 水戸桜ノ牧 A
- 第3位 下妻第二 A
- 第4位 水戸工業
- 第5位 石岡商業

女子団体

- 優勝 水戸第一
- 準優勝 石岡商業
- 第3位 竜ヶ崎第一 A
- 第4位 下妻第一 A

男子個人

- 優勝 瀧本 壮汰(守谷)
- 準優勝 高野 陽人(霞浦)
- 第3位 赤羽根愛椰(水工)

女子個人

- 優勝 高野 碧(石商)
- 準優勝 中嶋 瑞希(妻一)
- 第3位 大貫 真札(茨城)

高校総体予選 県民総体予選 全国総体予選 国体茨城大会

R4/6/11、12、14

男子団体

- 優勝 水戸桜ノ牧
- 準優勝 下妻第二
- 第3位 石岡商業
- 第4位 土浦工業
- 第5位 鹿島
- 第6位 清真学園

女子団体

- 優勝 石岡第一
- 準優勝 下妻第一
- 第3位 那珂
- 第4位 水戸第二

第5位 古河第二

第6位 下妻第二

男子個人

- 優勝 瀧本 壮汰(守谷)
- 準優勝 石井 啓斗(桜牧)
- 第3位 西野 颯馬(妻二)
- 第4位 山口 祐京(土工)
- 第5位 大森 楓(日北)
- 第6位 會澤 孝仁(館二)

女子個人

- 優勝 豊田 陽菜(水一)
- 準優勝 高野 碧(石商)
- 第3位 木村 璃音(守谷)
- 第4位 平野 優奈(土二)
- 第5位 小島 栞(取一)
- 第6位 谷 果穂(古二)

国体選手選考会

R4/5/20 (1次)

R4/5/28 (2次)

候補選手

- 男子 瀧本 壮汰(守谷)
- 亦野 涼雅(清真)
- 高野 陽人(霞浦)
- 監督 松崎 稔昌(守谷)
- 女子 黒沢 楓(石商)
- 高田 凜桜(清真)
- 駒場ゆきの(石商)
- 監督 青柳 優(石商)

県個人選手権兼関東個人選手権県予選会

R4/8/18 (男子)

R4/8/19 (女子)

R4/8/22 (決勝)

男子総合

- 優勝 石井 啓斗(桜牧)
- 準優勝 高野 陽人(霞浦)
- 第3位 山重 真詞(妻二)

女子総合

- 優勝 磯山 和沙(水二)
 - 準優勝 阿久津和奏(水二)
 - 第3位 有田 更紗(竜二)
- ▼男子1年
- 優勝 木村 文音(水二)
- ▼女子1年
- 優勝 磯山 和沙(水二)
 - 準優勝 阿久津和奏(水二)
 - 第3位 中村 心美(清真)
 - 第4位 角田 結菜(水二)
 - 第5位 藤崎 奏心(竜二)

中野優勝旗大会

R4/9/10

男子団体

- 優勝 清真学園
- 準優勝 水戸桜ノ牧
- 第3位 下妻第二

▼女子団体

優勝 下妻第二

準優勝 古河第二

第3位 緑岡

▼男子個人

優勝 秋武 大介(清真)

準優勝 西澤 佑亮(土二)

第3位 佐藤 智樹(竹園)

▼女子個人

優勝 増田 莉那(妻二)

準優勝 小林 彩乃(妻二)

第3位 小瀨夏奈実(水工)

新人大会兼全国選抜予選

R4/11/10(男子)

R4/11/11(女子)

▼男子団体

優勝 土浦工業

準優勝 牛久栄進

第3位 水戸桜ノ牧

第3位 清真学園

▼女子団体

優勝 水戸第二A

準優勝 竜ヶ崎第二

第3位 水戸第一

第3位 清真学園B

▼男子個人

優勝 亦野 涼雅(清真)

準優勝 工藤 拓海(土三)

第3位 西野 颯馬(妻二)

優勝 新出 埜乃(竜二)

準優勝 綿引 千也(牛久)

第3位 相川 寧々(土三)

県高校弓道冬季大会

R5/1/22(男子)

R5/1/23(女子)

▼男子団体

優勝 日立北

準優勝 日立第一

第3位 牛久栄進

▼女子団体水戸第二

優勝 水戸第二

準優勝 清真学園

第3位 水戸第一

▼男子個人

優勝 助川 諒征(日二)

準優勝 梶原 啓司(日北)

第3位 栗田 優成(日北)

▼女子個人

優勝 堀口 晴菜(水二)

準優勝 野寺ひなた(妻二)

第3位 五未 凜(水二)

中体連県内大会結果

県総合体育大会

R5/7/25

▼男子団体

優勝 東海南中

準優勝 阿見中

第3位 千波中

▼女子団体

優勝 東海中

準優勝 千波中

第3位 清真学園中

▼男子個人

優勝 龍野 至穩(東海南中)

準優勝 神林 啓佑(阿見中)

第3位 岩倉 佳彦(東海南中)

▼女子個人

優勝 高野 悠(清真学園中)

準優勝 佐藤 愛佳(龍ヶ崎中)

第3位 石毛 禾音(清真学園中)

中野優勝旗大会

R4/8/2

▼男子団体

優勝 龍ヶ崎中

準優勝 東海南中A

第3位 土浦一中A

▼女子団体

優勝 千波中A

準優勝 東海中A

第3位 清真学園中A

▼男子個人

優勝 川上 悠太(千波中)

準優勝 栗原 煌(龍ヶ崎中)

第3位 龍野 至穩(東海南中)

▼女子個人

優勝 高野 悠(清真学園中)

準優勝 長谷川美空(千波中)

第3位 跡部 和奏(東海中)

県新人大会

R4/10/28

▼男子団体

優勝 清真学園中

準優勝 東海中

第3位 土浦三中

▼女子団体

優勝 猿島中

準優勝 太田中

第3位 清真学園中

▼男子個人

優勝 熊谷 憲悟

(東海南中)

準優勝 山口 優斗(東海中)

第3位 飯村 祐亮(土浦一中)

▼女子個人

優勝 島田 結愛(猿島中)

準優勝 五島 夢叶(猿島中)

第3位 寺内 夏希(龍ヶ崎中)

R4/11/12

▼男子の部

優勝 小山 兼人(東海南中)

準優勝 磯 王杜(城西中)

第3位 金井 和樹(朝日中)

入賞 茂木 幸祐(東海)

奥田 聖大(阿見)

小林 怜瑠(茨城)

森 陽太(清真)

宮岡晟二郎(清真)

飯塚 宗祐(土浦三)

村上 誠和(土浦二)

▼女子の部

優勝 川津芽依実(水戸二中)

準優勝 黒田 悠加(清真学園中)

第3位 人見 天音(清真学園中)

入賞 鈴木 優花(清真)

村松 結(東海)

古谷 優芽(清真)

柴 栞(竹来)

大久保音夢(龍ヶ崎)

梶原 優花(城西)

片岡 堇(清真)

浅利 あい(清真)

令和4年度 中央(臨時)審査会 合格者

No	段位 称号	氏 名	所 属	取得日	審 査 会 名
1	六段	矢野大輔	藤代	R4. 9.19	【関東地区】臨時中央審査会
2	六段	新川喜美子	神栖		
3	六段	高松清	笠間	R4.11. 4	【東京】定期中央審査会
4	六段	鈴木裕美	湊		
5	六段	廣木栄則	湊		
6	七段	小堀富男	鹿嶋	R5. 2. 2	【名古屋】定期中央審査会
7	八段	明間勲	取手	R4. 9.20	令和4年度推薦
8	八段	福地平	水戸	R5. 2. 4	【名古屋】定期中央審査会
9	錬士	古俣正喜	神栖	R4. 7.18	【東北地区】錬士臨時中央審査会
10	錬士	吉村静華	堀原	R4. 9.17	【関東地区】臨時中央審査会
11	錬士	大岡健司	水戸	R4.10.22	【東北地区】臨時中央審査会
12	錬士	瀧口真央	土浦	R4.11. 7	【関東地区】錬士臨時中央審査会
13	錬士	藤崎岳人	日製(日立)		
14	教士	安藤勝利	友部	R4.11. 5	【東京】定期中央審査会
15	教士	木村亜紀子	北総	R5. 2. 3	【名古屋】定期中央審査会
16	教士	吉澤靖	北総		

令和4年度 五段審査会 合格者

No	取得	氏 名	所 属	取得日	審 査 場 所
1	五段	江幡航平	取手	R4. 5.15	【東京】関東地域連合審査会
2		熊田大輔	霞ヶ浦		
3		山中洋之	土浦亀城		
4		市毛文絵	笠間	R4. 7.10	【千葉】関東地域連合審査会
5		中野公子	水戸射友会	R4. 9.23	【栃木】関東地域連合審査会
6		小又美恵子	友部		
7		坂井昌平	土浦亀城	R4.10.23	【茨城】関東地域連合審査会
8		山野貴広	三菱ケミカル		
9		稲田仁美	勝田		
10		黒澤由香	湊		
11		平原勝己	美野里		
12		中田智也	石岡	R5. 2.26	【東京】関東地域連合審査会
13		新井智恵子	取手		
14		立花純一	堀原		